

Title	しあわせは地道に働く者へ
Author(s)	田中, 幸太郎
Citation	makoto. 1973, 3, p. 6-6
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86275
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

しあわせは

地道に働く者へ

一銭を笑うものは一銭に泣く、
と言うことや、チリも積れば山
となると言う諺(ことわざ)が
あります。私の子供の頃の記憶
に、母は嫁にやる三人の娘に、
口癖のように、「一升の儲(も
う)けより三合の見集め(節約
)することが結果としてよい」
と節約をきびしく論(さと)し
ていました。もちろん、私の家
は農家であったから、お米にた
とえて聞かせたことと思います。
今、私は仕事のこと、毎日
次のようなことを繰返していま
す。就職者の面接に当たってい
ますと、三人の内一人は、給料
はどれくらいですか、休日は月
何日ですか、外に手当てはあり
ますか、被服、交通費はどうな
りますか、保険は何と何がありま
すか。前に勤めていた所はこれ
これでした、とよく聞きます。
また、十人に一人くらいは、

給料はいくらでも結構です、た
だ、毎日続けて働けますか、な
どと聞く者もあります。前者に
ついてだんだんと聞いてみると、
前に勤めていたところは、激し
い労働であり、時間も長く、福
利厚生施設もなく、もちろん保
険もありません。その上天候そ
の他のため、一カ月のうち働け
る日は、二十日に満たない所が
多いということでした。

こんな人と面接したとき、い
つも母のことを思い出し、いや、
ああじゃ、こうじゃと話をして
雇った人が多くいます。そうい
う人たちが、今も毎日楽しく仕
事をしていきますが、たまに話し
合おうと、やはり同じことです。
と漏らしています。

その日その日は少しぐらい少
くても、まじめに働くことで
かりに五千円もうけて五千円使
う人と、三千円もうけて三百円

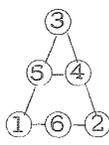
残す人とは、長い年月には大き
な差ができます。手近なもうけ
でたくわえたものは、早くなく
なりがちです。根気よく貯めた
ものは、根強さがあり堅実です。
昔の人のよい所を見て、将来
しあわせに暮らすようにしたい
ものです。

第三事業部

田中幸太郎

(数字パズル解答)

頂上を3、和を9にする方法
が一つだけあります。1から6
までの合計は21。頂上の数字で
ヨコ二本を同一の和にしなけれ
ばなりません。ということは、
頂上は奇数であらねばならず、
3か5のどちらかです。そのう
ち5ではナナムの和が大きくな
りすぎて不可能です。(喜多)



編集後記

暑中お伺い申しあげます。
第三号は六月末には発送でき
る運びになりました。

これからは衛生関係だけにと
らわれず、広く「まこと」の心
にかなうよう何んでも載せてゆ
きたいと思っています。(喜多)